

専門職向け研修会の内容

在宅医療・介護多職種連携研修会

- テーマ 「患者にとっての最善の医療・ケアを多職種チームで考える」
講師：筑波大学医学医療系 地域医療教育学 助教
神栖地域医療教育センター・神栖済生会病院 内科医長
細井 崇弘 氏

- 開催日程 令和元年6月26日（水）19時～21時

- ねらい 患者（利用者）自身の意向が直接確認できない、推測せざるを得ない時にどのような視点が必要なのか、講義や演習にて学び、常に患者の最善が何かを議論の中心において話し合いを進めることができるようにする。

- 参加者 87名（市内及び近隣の医療・介護事業所，行政担当に広報実施）
- | | | | |
|-------|-----|-------------|-----|
| 医師 | 1名 | MSW・PSW・相談員 | 6名 |
| 薬剤師 | 3名 | 介護職員 | 13名 |
| 看護師 | 23名 | ケアマネジャー | 22名 |
| 作業療法士 | 1名 | 行政・社協 | 18名 |

- 講演内容
1. プロセス・ガイドラインで重要なこと
 2. 患者の意思を直接的・間接的表現から推定する
 3. 4分割法を使った情報整理方法
 4. コンセンサス形成
 5. グループワーク

- アンケートから
- ・ 多職種連携がまだ進んでいない
 - ・ 研修会に対するニーズはある
 - ・ 研修会に対する満足度は高い

- 今後の展開
- ・ 在宅医療介護連携が推進できる研修会を複数回開催する。☑
 - ・ 講演会や研修会の内容として事例や認知症への対応を取り上げる。
 - ・ 石岡市の現状について、各団体の集会時や研修会の際に紹介していく。☑

R1.6.26 在宅医療・介護多職種連携研修会 アンケート集計結果

N= 73

※未回答は掲載していません。

Q1 あなたの職種は何ですか

①医療従事者	32名	44%
在籍②介護従事者	24名	33%
③その他（行政等）	15名	21%

Q2 今日の研修会で初めて話をした人は何人いましたか

①0～2人	11名	15%
②3～4人	26名	36%
③5～6人	34名	47%
④7人～	2名	3%

全体の5割が「5～6人」と回答
 ➡多職種な6人でのグループワークだったため、新たな顔の見える関係づくりができ、多職種の連携をさらに充実させる機会になっている。

Q3 今回の講演会の満足度はどのくらいですか（10段階の数字に○）

悪 か っ た	1	0名	0%
	2	0名	0%
	3	2名	3%
	4	0名	0%
	5	1名	1%
良 か っ た	6	6名	8%
	7	9名	12%
	8	27名	37%
	9	7名	10%
	10	20名	27%

} 74%

「非常に良い」に該当する8以上が74%
 ➡おおむね高評価であった。

Q4 研修内容は理解できましたか

①よく分かった	28名	38%
②まあまあ分かった	43名	59%
③どちらとも言えない	1名	1%
④あまり分からなかった	1名	1%
⑤全く分からない	0名	0%

} 97%

「分かった」が97%
 ➡患者の意思を直接的・間接的表現から推定し、チームで考える手法について、理解を広めることができました。

Q5 今日の研修内容を、ご自身の業務に活かせると思いますか

①すごく思う	32名	44%	} 95%
②まあまあ思う	37名	51%	
③どちらとも言えない	4名	5%	
④あまり思わない	0名	0%	
⑤全く思わない	0名	0%	

「業務内容に活かせると思った」が95%
 →臨床での具体例を交えた講義に加え、意思確認が困難な本人の意思を推定していく考え方やアプローチについて、多職種でのグループワークを通し、多角的に学ぶことができました。

Q6 在宅医療・介護連携についての研修会にまた参加したいと思いますか

①すごく思う	46名	63%	} 97%
②まあまあ思う	25名	34%	
③どちらとも言えない	1名	1%	
④あまり思わない	0名	0%	
⑤全く思わない	0名	0%	

「参加したいと思う」が97%
 →多職種での顔合わせの場として、また連携に必要な知識情報を得る機会として、この研修会を有益と捉えていただくことができました。

Q7 このような研修会を、年間何回程度開催して欲しいと思いますか

①1回	2名	3%	} 82%
②2回	31名	42%	
③3回	29名	40%	
④4～6回	12名	16%	
⑤月1回	0名	0%	

「2回」「3回」が82%
 →おおむね年間複数回での研修開催を希望している。

Q8 在宅医療・介護連携について、今後取り上げて欲しいと思うものはどれですか【複数回答可】

①在宅医療・介護の事例を聞く機会	39名	53%
②在宅医療・介護連携推進事業の制度説明	18名	25%
③石岡市の現状（進捗状況）等を聞く機会	21名	29%
④他の職種の業務内容紹介	18名	25%
⑤認知症への対応（ケア・意思決定等）	31名	42%
⑥終活	14名	19%
⑦その他	2名	3%

①事例⑤認知症についての希望者が多かった。③石岡市の現状についても関心が高い。
 →関心が高かった内容については、今後の講演会や研修会の題材として検討する。石岡市の現状については、各団体の集会時や講演会や研修会の際に紹介できるよう調整していく。

■会場の様子

